

KINUTANI

Art Place Hiroo

第2回
展覧会

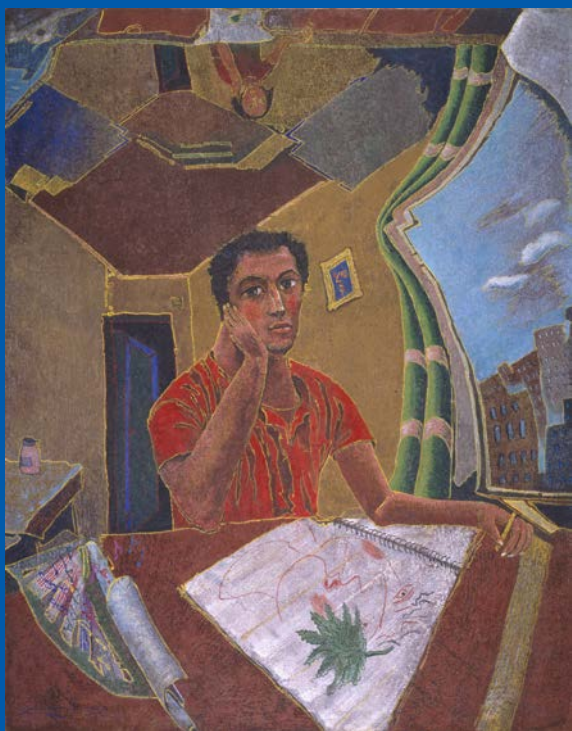
壁に描く 絹谷幸二の 壁画

人は壁が担っているなにかを解き放ち、永遠の彼方に霧散させなければならなかった。
だからこそ、巨大な岩石の天井を透明な青で塗りつぶしたのであろう。
絵を描けば、重く厚い石の向こうに草木が生い茂り、鳥が歌った。
そのように、絵を描くということは、
私たちを取り巻くあらゆる精神的・物理的な障害を取り除く行為であったと思う。——絹谷幸二

《アンジェラと蒼い空I》1976年

2026年 10月 08日 | 木 | — 2027年 03月 28日 | 日 |

壁に描く——絹谷幸二の〈壁画〉



《自画像》1985 年

2026 年 10 月 08 日 | 木 |
— 2027 年 03 月 28 日 | 日 |

開館日時

木・金 13:00–17:00

土 10:00–17:00

特別開館日

2026 年 10 月 12 日 (月)、11 月 22 日 (日)、11 月 23 日 (月)、
2027 年 1 月 24 日 (日)、3 月 28 日 (日) 10:00–17:00

* 入館は閉館の 30 分前まで

** 年末年始 12 月 31 日 (木)–1 月 2 日 (土) は休館いたします

教育普及プログラム・イベント

絵画造形ワークショップ (隔月開催)

2026 年 11 月 22 日 (日)

2027 年 1 月 24 日 (日)、3 月 28 日 (日)

13:00–16:30 (予定)

* 要予約。詳細は WEB サイトをご覧ください。

夜間延長開館 & ギャラリートーク (月 1 回・金曜日開催)

2026 年 10 月 30 日、11 月 27 日、12 月 18 日

2027 年 1 月 29 日、2 月 26 日、3 月 26 日

13:00–20:00 (ギャラリートーク | 19:00–19:30)

入館料

一般 900 円

大学生／高校生 700 円

中学生以下 無料

* 学生証をご提示ください

** 障害者手帳をご提示の方 (付添の方 1 名含む) は入場無料

主催

公益財団法人 絹谷幸二美術財団

お問合せ

TEL 03-6455-7833

* 開館時のみ受付

MAIL office@kinutani-art.or.jp

絵を描くということは、
私たちを取り巻く
あらゆる精神的・物理的な障害を
取り除く行為であったと思う。

——絹谷幸二*

画家・絹谷幸二 (1943–2025) は、1971 年にイタリアへ留学し、西洋の古典的壁画技法のアフレスコを学びました。やがてキャンバスにアフレスコ技法を応用した下塗りを施すようになった絹谷は、キャンバス上に〈壁画〉を描いたといえるでしょう。

アルタミラ洞窟や高松塚古墳等の古代の壁画から焼損した法隆寺金堂の壁画やベルリンの壁まで、様々な壁に関心を向けながら、絹谷は自身の画業を探索しました。

壁は、風や外敵などから身を守るものであると同時に、「精神的・物理的な障害」でもあります。絹谷にとって〈壁画〉を描くことは、壁の持つ「人間にのしかかってくるすべての苦しみや災い」から人々を解き放とうと試みる行為であったといえます。

本展では、アフレスコ技法やその応用によって描かれた絵画、そこから展開された立体作品を通じ、壁に描くことの意味を問い直します。

* 絹谷幸二「壁の崩壊した日」「壁は二〇〇億光年の夢を見る」美術年鑑社、1992 年、33 頁。



絵画造形ワークショップの様子



KINUTANI Art Place Hiroo

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-25-4 宝ビル 5 階

* 東京メトロ日比谷線「広尾駅」1 番または 2 番出口より徒歩 7 分



WEB サイト